

## フェア党理念（2015年5月19日）

フェア党は、以下の理念に従い、よりフェアな社会を作るために活動する。

### 一、フェアである社会

我々が暮らす社会は、人種や国境、さらには生物種、時間の枠を越え、全ての命に対してフェアでなければならない。我々は将来生まれ来るいかなる命に対してもフェアである責任を負う。我々の社会の仕組みを決める際、我々は常に広くこのフェアの概念を適用し、それに従って判断、議論しなければならない。判断に迷ったらいつでもこの理念に立ち戻り、その状況における「フェアとは？」という問いから始めるべきである。

### 一、個人が自由で自立した社会

我々は常に個人として自由に考え、判断し、行動しなければならない。それは自由であると同時に責任である。何故なら、時として体制が生み出す不正義、アンフェア、誤った方向性に異を唱え、新しい方向性を与えうるのは、個人の自由な心に基づく判断、行動であり、それは社会の最も重要な自浄機能であるからである。物言わぬ個人はファシズムを育て、自由民主主義を殺す。よって我々は不断の努力によってその責任を全うしなければならない。個人の自由は公共の秩序や公益に優先し、他者の権利（公共の福祉）を侵害する場合にのみ制限されるものとする。

### 一、持続可能な社会

将来にわたって生まれ来る全ての命に対してフェアであるためには、持続可能な社会でなければならない。持続不可能な社会は未来の命に対する重大なアンフェアである。また、人類の発展だけを考えた社会はその他の生物に対するアンフェアであり、人類にその権利はない。持続可能性は経済合理性よりこれを優先する。

### 一、何故を問う社会

時代と共に変化する社会において、あらゆる制度の合理性は常に問われなければならない。何故そうあるべきなのか？という問いを常にぶつけ、フェアの概念に照らして

その合理性、正当性を問い直すことが、多くの人にとって納得できる社会制度を作る術である。過去にそうだったからという理由だけで現状を追認する思考停止に陥ってはならない。

#### 一、他を尊重する社会

我々は他を尊重しなければならない。他とは自己以外の全てを指し、人、生物に限らずあらゆるものを指す。他は自己と違い、自己でないからこそ存在意義があるのであって、多様性が我々の社会を豊かにする。我々は、過去あらゆる文明において、異質な他を排除する行為が生んだ悲惨な歴史に目を向けるべきである。違いを認め合い、自己以外を尊重する気持ちがフェアな社会の下地を作る。

#### 一、多様な価値を生かす社会

現状の我々の価値基準は極めて一元的になっており、貨幣に換算できる経済的価値が他の価値を凌駕している。したがって、その獲得が社会の支配的な行動様式となり、その有無が実質的階層を生み出し、アンフェアな状況を作り出している。我々は本来、経済的価値の創出、消費のために生まれたわけではなく、他にも多様で大事な価値があることを知っている。仮にそれらが貨幣価値に換算できず、経済的合理性を持たないとしても、それは現在の政治経済体制、金融制度の問題であり、我々は制度の改善に努めつつ、それらの価値を真理の目を持って見通し、守り、将来に残す責務を負う。

#### 一、関わり合う社会

他との違いを認め、フェアに共存し、自己以外の世界と関わりあうことにより、自己だけでは生み出せない何か生まれ、それが社会を未来に進める。生み出されるもの全てが善とは限らないが、関わりを通じて生じる問題は、関わりを通して解決できる。社会とは、なるべく多くの関わり合いを演出する舞台であり、それを阻害する要因は最大限排除されなければならない。それは集合、移動、コミュニケーション等、関わり合いに要する手段にかかる経済的、時間的、肉体的、精神的負担その他、人の活動を抑制する全ての障害を指す。

以上